

美幌町自治基本条例を生きた条例にするための

アクションプラン

平成30年度の実施結果

取組事業数		42	事業
取組状況	実施中	19	事業
	完了	23	事業

令和元年6月

美幌町自治基本条例庁内推進委員会

1 はじめに

美幌町自治基本条例を生きた条例にするための

「アクションプラン」 策定の趣旨

平成23年4月に施行された美幌町自治基本条例は、本町の自治の基本となる理念や原則を定め、これらを実現するための基本的な仕組みを明らかにしています。

地方分権改革の進展により、国から地方へ権限が徐々に移ってきており、この流れは今後も続くことが予想されます。それは、地域のことは、その地域の人が自らの責任において決めていくことを意味し、これまで以上に、その自治体がどのようなまちづくりを進めて行くかによって、自治体の間に大きな開きがでてくることを意味します。このような中、美幌町のまちづくりの方向性を決めるに当たっては、より多くの町民の皆様と話し合っていく必要があります。さらに、その実践に当たっては、町民、議会、行政が一体となり協力していかなければなりません。

美幌町自治基本条例を制定しただけで終わらせては何の意味もありません。条例に基づき行動を起こすことにより初めて生きた条例となります。

この条例の目的である「町民主体の自治」を実現するための取り組みをまとめたのがこの「アクションプラン」です。

- | | |
|------------|----------|
| ● 平成23年11月 | 策定 |
| ● 平成24年4月 | 実施結果策定公表 |
| ● 平成25年4月 | 実施結果策定公表 |
| ● 平成26年4月 | 実施結果策定公表 |
| ● 平成27年5月 | 実施結果策定公表 |
| ● 平成28年7月 | 実施結果策定公表 |
| ● 平成29年7月 | 実施結果策定公表 |
| ● 平成30年5月 | 実施結果策定公表 |
| ● 令和元年6月 | 実施結果策定公表 |

1 体系図

関連条文	アクションプラン名	具体的なプランの内容
第2章 情報共有 第5条 情報の共有 第6条 情報の提供 第7条 説明責任 第8条 情報公開 第9条 個人情報保護 第10条 町民の意見等 第11条 会議の公開	①情報公開の推進 ②情報提供の推進 ③公文書の適正な管理	周知用パンフレットの作成 運用マニュアルの作成 審議会等の会議の公開に関する条例の制定 各担当によるHP更新体制の整備 ホームページの内容の改善 積極的な情報提供 ファイリングシステムの導入の検討 公文書管理条例の検討 公文書の手引きの作成
第3章 町民参加 第12条 町民参加の基本 第13条 町民参加の対象 第14条 町民参加の方法 第15条 提出された意見等の取扱い 第16条 審議会等の委員の選任	④町民参加の機会の拡充	青少年・子どもの町政への参加の推進 女性の町政への参加の推進 町民参加対象施設に関する規則の制定 町民が参加しやすい手法の検討 審議会等の見直し 審議会等の委員の公募に関する条例の制定 パブリックコメント手続条例の制定
第4章 住民投票 第17条 住民投票 第18条 住民投票の請求等	⑤住民投票制度の創設	住民投票条例及び施行規則の制定 住民投票制度の周知
第6章 協働・コミュニティ 第22条 協働の推進	⑥協働の推進	協働事業を推進する制度の検討 協働指針・マニュアルの作成

関連条文	アクションプラン名	具体的なプランの内容
第9章 行政運営 第36条 総合計画 第37条 財政運営 第38条 行政評価 第39条 行政改革 第40条 行政手続 第41条 政策法務 第42条 危機管理 第43条 公益通報	⑦総合計画の適正な運用	実施計画の進捗管理 総合計画と他の計画との整合性 第6期総合計画策定及び検討内容の公表 総合計画条例の検討
	⑧健全な財政運営	中長期の財政計画の策定 予算、決算、財政状況等分かりやすい資料の作成
	⑨行政評価システムの再構築	行政評価システムの構築 行政評価条例の検討
	⑩行政改革の推進	第5次実施計画の策定
	⑪行政手続制度の適正な運用	審査基準の検証 標準処理期間の設定・公表
	⑫政策法務の推進	政策法務推進体制の整備
	⑬危機管理体制の整備	地域防災計画の見直し 各種マニュアルの作成 防災体制の整備
	⑭公益通報制度の創設	法令遵守推進条例の制定
第11章 条例の見直し等 第48条 条例等の見直し 第49条 美幌町自治推進委員会	⑮条例の進捗管理	自治基本条例庁内推進委員会の設置・運営 自治推進委員会の設置、運営
条例の周知 町民への周知又は職員の研修等	⑯住民への周知	説明会・ワークショップ等の開催 「まちづくりすいしんニュース(仮称)」の発行 子ども向けパンフレットの作成
	⑰職員研修	職員研修の実施

第2章 情報共有

アクションプラン

2

「情報提供の推進」

現状と課題	情報の共有を進める上で最も重要なものは、行政が保有する多くの情報を町民に提供していくことであると考えます。現状の広報媒体による提供に加え、新たな提供手法の検討を進めていく必要があります。 また、現代社会においてホームページは、重要な情報提供の手段です。平成27年度に町ホームページをリニューアルしましたが、さらに幅広い情報を迅速に提供できるようにする必要があります。
今後の取組	●各担当によるHP更新体制の整備 ●ホームページの内容の改善 ●積極的な情報提供

※HP=ホームページ

【担当：まちづくりグループ・全グループ】

取組内容		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
積極的な情報提供									
進捗状況	実施中	【現状・今後の方向性】 「まち育」講座及び「まち育」出前講座の制度設計と開催、「まち育新聞」の発行、1階ロビーに情報コーナーを設置するなど新たな手法で情報を提供しています。地域サポーター制度も活用することにより、情報の種類によって適切な情報提供の手法を選択し、実施していきます。							

第3章 町民参加

アクションプラン

4

「町民参加の機会の拡充」

現状と課題	町民参加は、町民主体のまちづくりを進めるうえで、最も重要な要素です。本町の町政への町民参加の現状は、行政が策定する各種計画やその見直しに当たり、審議会等やアンケート調査、パブリックコメントなどにより町民の皆様から意見をいただいております。今後、さらに町民主体のまちづくりを進めて行くためには、ワークショップや参加型パネルディスカッションなど新しい手法により、今まで以上に多くの方から意見をいただくことが必要であり、特に、女性や将来の担い手である子どもの町政への参加を推進していく必要があると考えます。
今後の取組	● 青少年・子どもの町政への参加の推進 ● 町民参加対象施設に関する規則の制定 ● 審議会等の見直し ● パブリックコメント手続き条例の制定 ● 女性の町政への参加の推進 ● 町民が参加しやすい手法の検討 ● 審議会等の委員の公募に関する条例の制定

【担当：まちづくりグループ・社会教育グループ・全グループ】

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
青少年・子どもの町政への参加の推進							
進捗状況	【現状・今後の方向性】						
実施中	町民参加ワーキンググループにおいて検討を進め、子ども条例については現時点で条例制定の必要性は無いと判断しました。今後とも、新しい手法を研究しながら、引き続き子どもの町政への参加の推進に取り組んでいきます。 また、平成30年度には、もっと身近に町政を感じてもらうよう、町内中学生、高校生を対象としたまちづくりアンケートを実施しました。						

【担当：まちづくりグループ・全グループ】

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
女性の町政への参加の推進							
進捗状況	【現状・今後の方向性】						
実施中	参加率向上については、第4次プランを策定しましたので、それに基づき取り進めていきます。なお、男女共同参画推進条例については、調査・研究を重ねた結果、条例制定の必要性が無いと判断しました。						

【担当：まちづくりグループ・全グループ】

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
町民が参加しやすい手法の検討							
進捗状況	【現状・今後の方向性】						
実施中	情報共有と町民参加の新しい手法として「まち育」講座、「まち育」出前講座を制度化し実施しています。今後においても、ワークショップ等町民が参加しやすい手法を検討していきます。						

第4章 住民投票

アクションプラン

5

「住民投票制度の創設」

現状と課題	自治基本条例第17条及び第18条において、「常設型」の住民投票制度を見据えた規定が置かれており、この規定に基づき具体的な手続等を定める条例及び施行規則の制定が必要です。
今後の取組	●住民投票条例及び施行規則の制定 ●住民投票制度の周知

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
住民投票制度 の周知									
		町民への周知 職員研修の実施			住民投票条例の周知 「まち育」出前講座での周知				
進 捗 状 況	実施中	【現状・今後の方向性】 住民からの要望により、「まち育」出前講座での説明、周知を行います。							

第6章 協働・コミュニティ

アクションプラン

6

「協働の推進」

現状と課題	国ではこれまで行政が担ってきた業務や、行政だけでは実施が困難であった業務を町民の参加と選択のもとで、NPOや企業等が一部の公共サービスの提供主体となる「新しい公共」を推進するため支援事業を展開しています。本町においても、協働を推進していくべきと考えますが、「協働＝行政の下請け」とならないように、町民、NPO等の各種団体が協働事業を提案できる制度を検討していく必要があります。
今後の取組	●協働を推進する制度の検討 ●協働指針・マニュアルの作成

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
協働を推進する制度の検討								
進捗状況	実施中	【現状・今後の方向性】 協働の領域にかかる「まちづくり活動奨励事業」について制度周知により活用を促進します。なお、今後においても、協働を推進するための制度の研究を行っていきます。						

第9章 行政運営

アクションプラン

7

「総合計画の適正な運用」

現状と課題	平成28年度から平成38年度までの11年間を計画期間とした、第6期美幌町総合計画が策定され、今後は、毎年度進捗管理を行うとともに、実施計画の公表を行います。
今後の取組	●実施計画の進捗管理 ●総合計画と他の計画との整合性 ●第6期総合計画策定及び検討内容の公表 ●総合計画条例の検討

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実施計画の進捗管理		 進捗状況の調査・結果公表 進捗管理・公表 進捗管理・公表 進捗管理・公表 進捗管理・公表 進捗管理・公表 進捗管理・公表 進捗管理・公表							
進捗状況	実施中	【現状・今後の方向性】 平成23～30年度については、実施計画の実施結果を公表しており、今後においても計画の着実な推進を図り、その内容を公表していきます。							

【担当:全グループ】

取組内容		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総合計画と他の計画との整合性		 各種計画の策定時に総合計画との整合性を検証							
進捗状況	実施中	【現状・今後の方向性】 平成27年度に第6期美幌町総合計画(H28～38)が策定され、分野毎の計画策定に当たっては総合計画と整合性が図られるよう取り進めました。							

現状と課題	第2次美幌町財政運営計画の後期計画期間(平成30～34年度を迎え、人口減少や少子高齢化がさらに加速するとともに老朽化や耐震不足により多くの公共施設の整備が予想される事から、平成30年2月に計画の見直しを行い持続可能な行財政基盤の確保を行いました。しかしながら、厳しい財政状況であることに変わりはなく、今後も計画的な財政運営を行うとともに、町の財政状況について分かりやすく町民の皆様説明する必要があります。
今後の取組	●後期計画内容に沿った財政運営 ●予算、決算、財政状況等分かりやすい資料の作成

【担当:財務グループ】

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
中長期の財政計画の策定							
進捗状況	【現状・今後の方向性】 実施中 平成29年度に財政運営計画の見直しを行いました。 また、今後も必要に応じて後期計画の見直しを行います。						

【担当:財務グループ】

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算、決算、財政状況等分かりやすい資料の作成							
進捗状況	【現状・今後の方向性】 実施中 予算、決算、財政状況説明資料の見直しを進め、平成24年度に作成し公表しました。今後においてもより分かりやすい資料の作成を進めていきます。						

現状と課題	平成18年度から投資的経費のみについて行政評価を実施しておりますが、現在の評価システムは、制度面、運用面の双方において決して効果的なものとなっていないのが現状であります。厳しい財政状況の中、経営資源である「ヒト」、「モノ」、「カネ」を有効に配分し、最小の経費で最大の効果を上げることが行政には求められております。そのためにも、事業の必要性、効率性、有効性、公平性、優位性の視点にたち、事務事業を進めていかなければならず、それら进行评估し、その結果を予算へ反映させるシステムの構築が必要であると考えます。
今後の取組	●行政評価システムの構築 ●行政評価条例の検討

【担当:まちづくりグループ】

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
行政評価システムの構築	システム構築・試行導入 事中評価試行実施 新年度予算へ反映(試行)	事中評価試行実施 新年度予算へ反映(試行)	事後評価試行実施 新年度予算へ反映(試行)	電算システム導入 7月 導入完了	システムの効果検証 システムの再構築(改修)を検討	システム改修	運用
進捗状況	【現状・今後の方向性】 平成24年度に構築した行政評価システムを平成27年度に電算システム化し、運用して来ましたが、事務処理の効率化や評価結果の活用を促進させるため、行政評価システムの改修を行い、様式等の全般的な見直しを行いました。 今後は、改修後の行政評価システムにより、予算査定での活用や公表を行います。						

現状と課題	近年の突発的な豪雨の発生や東日本大震災により、本町においても地域防災計画の見直しの必要性が求められております。これらのことから、地域防災計画の見直し及び各種マニュアル等の見直し・整備を進めるとともに、避難勧告ガイドライン等を策定し、災害等の緊急時において総合的かつ機能的な活動が図れるよう体制を整備していく必要があります。
今後の取組	●地域防災計画の見直し ●各種マニュアル等の見直し・整備 ●防災体制の整備

【担当：総務グループ】

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域防災計画の見直し		美幌町地域防災計画の見直し	完了	美幌町地域防災計画の見直し		美幌町地域防災計画の見直し	美幌町地域防災計画の見直し
進捗状況		実施中	【現状・今後の方向性】 地域防災計画については、必要な都度見直しを行っております。 平成30年度は、気象情報のほか災害記録の追加、北海道地域防災計画に準じ項目を追加しました。平成31年度以降についても、関係法令の内容に的確に対応し計画の更なる強化を図りながら実効性ある見直しを進めていきます。				

追加【担当：総務グループ】

取組内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
各種マニュアルの見直し・整備	防災ガイドブックの作成 洪水ハザードマップの作成	各種マニュアルの見直し	各種マニュアルの見直し	防災ガイドブックの作成 洪水ハザードマップの作成 職員初動態勢マニュアルの作成 職員避難所開設マニュアル(水害編)の作成	避難所運営マニュアルの作成	防災Webマップの作成
進捗状況		実施中	【現状・今後の方向性】 平成30年度は、防災Webマップを作成しました。平成31年度以降についても、訓練等を通してより実効性のあるマニュアルの見直しや、新たに必要なマニュアルの整備検討を進めていきます。			

【担当：総務グループ】

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
防災体制の整備							備蓄品及び資機材の整備
進捗状況		実施中	【現状・今後の方向性】 防災資機材として平成24年度以降、美幌町災害時備蓄計画に基づき各避難所等への整備を進めております。なお、31年度以降においても防災備蓄品の整備及び防災無線の更新に係る設計等を進めながら、防災体制の整備を進めていきます。				

第11章 条例の見直し等

アクションプラン

15

「条例の進捗管理」

現状と課題	自治基本条例を生きた条例とするためには、条例の運用状況を適正に管理していく必要があり、未整備の条例や制度については、速やか(1年以内を目標)に整備し、実行に移していかなければなりません。そのためには、庁内の推進体制を整えとともに、町民の立場からこの条例を「守り育てていく」必要があるため、美幌町自治推進委員会を設置します。
今後の取組	●自治基本条例庁内推進委員会の設置・運営 ●自治推進委員会の設置・運営

【担当:まちづくりグループ】

取組内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自治基本条例庁内推進委員会の設置・運営	 設置 庁内推進委員会の設置 庁内推進委員会の運営							
進捗状況	実施中	【現状・今後の方向性】 庁内推進委員会を設置するとともに、委員会の下部組織として町民参加・情報共有・町民参加のワーキンググループを設置し、調査、研究、検討を進めていきます。						

【担当:まちづくりグループ】

取組内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自治推進委員会の設置・運営	 設置 委員会の設置運営(6回)	 委員会の運営(1回)	 委員会の運営(4回)	 委員会の運営(6回)	 委員会の運営(4回)	 委員会の運営(1回)	 委員会の運営(1回)	 委員会の運営(6回)
進捗状況	実施中	【現状・今後の方向性】 平成23年度に委員会を設置し、計29回の会議を開催しました。平成30年度においては条例の見直しを行い、結果として改正には至りませんでした。平成31年度におきましても、引き続き進捗管理を行っていただくとともに、まちづくりの推進について意見を頂きます。						

条例の周知

アクションプラン

16

「住民への周知」

現状と課題	自治基本条例制定後においても、町民の皆様に条例の内容を理解していただくため、様々な手法を用いて説明をしていく必要があります。広報やホームページでの周知はもとより、各種団体等への説明会や、ワークショップ、パネルディスカッション、フォーラムなど町民参加型の新たな周知方法を検討し実施していきます。
今後の取組	●説明会・ワークショップ等の開催 ●「まちづくりすいしんニュース(仮称)」の発行 ●子ども向けパンフレットの作成

【担当:まちづくりグループ】

取組内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
説明会・ワークショップ等の開催	12月 各種団体等への説明会を随時開催(広報・HPで周知) 周知活動の実施 周知方法の検討 継続的に実施							
進捗状況	【現状・今後の方向性】 実施中 「まち育」出前講座での説明及び意見交換を実施しました。今後においても、継続的に周知活動をしていきます。							

【担当:まちづくりグループ】

取組内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
「まちづくりすいしんニュース(仮称)」の発行	「まち育」新聞の発行(2回) 「まち育」新聞の発行(2回) 「まち育」新聞の発行(4回) 「まち育」新聞の発行(2回) 「まち育」新聞の発行(1回) 「まち育」新聞の発行(1回) 「まち育」新聞の発行(2回) 「まち育」新聞の発行(1回)							
進捗状況	【現状・今後の方向性】 実施中 「まち育」新聞を平成23年度2回、24年度2回、25年度4回、26年度2回、27年度1回、28年度1回、29年度2回(H30.4.1号を含む)、30年度1回発行し、全戸配布いたしました。引き続き、行政の各分野における情報発信に努めていきます。							

現状と課題	自治基本条例制定過程において、職員に対する説明会を実施し条例内容の周知に努めてきましたが、この条例をさらに深く理解し、条例に基づいたまちづくりを進めて行くために、職員に対する研修を実施します。 なお、新規採用職員に対しては、4月に行う研修のカリキュラムに組み込み実施していきます。
今後の取組	●職員研修の実施

担当:まちづくりグループ

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
職員研修 の実施							
進捗 状況	【現状・今後の方向性】 毎年、新規採用職員に対し条例の内容について研修を実施しています。 また、全職員に対しては平成24年度に「日々の業務と自治基本条例の関わり」、「町民参加のまちづくりを進める上での課題」などについてグループワークなどを実施しました。今後においては各グループ毎に自治基本条例に基づき実施した各業務の拾い出しを行い、全庁的に実施内容の共有を図ることとします。						

第2章 情報共有

アクションプラン

1

「情報公開の推進」

現状と課題	情報公開制度は、町民の知る権利を保障し、公文書の公開を請求する権利を明らかにしたものです。情報の共有を進める上でこの制度は欠かすことのできないものであるため、現在、未作成であるパンフレットを作成し、町民に対し制度の周知を図る必要があります。また、この制度を適正に運用させるためには、行政は制度の趣旨等を十分に理解し運用していかなければならないことから、運用マニュアルの作成が必要であります。公開できないものについては過去の判例に基づき整理を行い、職員が適正かつ迅速に対応できる体制を整備していきます。
今後の取組	●周知用パンフレットの作成 ●運用マニュアルの作成 ●審議会等の会議の公開に関する条例の制定

【担当：総務グループ】

取組内容		平成24年度	
進捗状況	完了 (継続中)		
		【現状・今後の方向性】 パンフレットを作成しました。今後においては、必要に応じて見直しを行うことを検討します。	

【担当：総務グループ】

取組内容		平成24年度	平成25年度	平成26年度
進捗状況	完了 (継続中)			
		【現状・今後の方向性】 マニュアルを作成しました。今後においては、必要に応じて見直しを行うことを検討します。		

【担当：総務グループ】

取組内容		平成24年度			
進捗状況	完了 (継続中)				
		【現状・今後の方向性】 自治基本条例第11条に規定されている会議の公開について、この会議の公開制度の実効性を確保するために、具体的な制度について条例を制定しました。今後においては、社会情勢の変化等を勘案し、必要に応じて見直しを行うことを検討します。			

現状と課題	情報の共有を進める上で最も重要なものは、行政が保有する多くの情報を町民に提供していくことであると考えます。現状の広報媒体による提供に加え、新たな提供手法の検討を進めていく必要があります。 また、現代社会においてホームページは、重要な情報提供の手段です。平成27年度に町ホームページをリニューアルしましたが、さらに幅広い情報を迅速に提供できるようにする必要があります。
今後の取組	●各担当によるHP更新体制の整備 ●ホームページの内容の改善 ●積極的な情報提供

※HP＝ホームページ

【担当：総務グループ】

取組内容		平成24年度
各担当によるHP更新体制の整備		12月  体制の整備 完了
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 各担当がHPを更新できるシステムを整備しました。今後においては、必要に応じて見直しを行うことを検討します。

【担当：総務グループ】

取組内容		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ホームページの内容の改善		 改善点の洗い出し	内容の検証・改善	内容の充実	リニューアル内容の充実 完了
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 各担当がHPを更新できるようにシステムを変更し、迅速な情報発信体制が整いました。また、26年度に庁内委員会にて内容を検討し、27年度中にリニューアルを行いました。今後においては、必要に応じて見直しを行うことを検討します。			

現状と課題	「情報公開制度と行政文書管理は車の両輪」とされており、情報公開制度の充実を図るためには、適正に公文書を管理しなければなりません。このことは、適正な公文書の作成、保管、保存、廃棄を意味しており、これら一連の管理を全庁的に行っていく必要があります。 公文書は町民の財産であることの認識にたち、現状の公文書管理を改善する取組が必要です。
今後の取組	●ファイリングシステムの導入の検討 ●公文書管理条例の検討 ●公文書の手引きの作成

【担当：総務グループ】

取組内容	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ファイリングシステムの導入の検討	ファイリングシステムの調査・検討 モデルG導入 効果検証 効果検証・ 導入意思決定 ファイリングシステム本格導入 (総務G、財務G、(総務G、財務G、(税務G、水道G、(保健福祉G、農業委員会、経済部)					
進捗状況	完了 (継続中) 【現状・今後の方向性】 平成24年度にモデルGでファイリングシステムを試行導入、25年度に効果の検証と導入の意思決定を図り、26年度から28年度までの3ヵ年計画で本格導入を実施しました。あわせて、G内の全職員を対象とした導入研修・実地指導を実施しました。今後はファイリングシステムが定着化するまで、導入後の維持管理が重要とされていることから、職員間で自主点検を行うなどの維持管理に努めていきます。					

※ G = グループ

【担当：総務グループ】

取組内容	平成23年度	平成24年度
公文書管理条例の検討	条例の調査・研究 条例制定可否の意思決定	
進捗状況	完了 (継続中) 【現状・今後の方向性】 情報共有ワーキンググループにおいて検討を進めた結果、公文書管理条例は、文書管理の手法であるファイリングシステムと関連している部分が多いため、ファイリングシステムの動向を踏まえ検討すべきと判断しました。	

【担当：総務グループ】

取組内容	平成24年度
公文書の手引きの作成	手引きの作成
進捗状況	完了 (継続中) 【現状・今後の方向性】 行政運営ワーキンググループにおいて検討を進め、手引きを作成しました。今後においても職員研修を活用し周知徹底を図っていきます。

第3章 町民参加

アクションプラン

4

「町民参加の機会の拡充」

現状と課題	町民参加は、町民主体のまちづくりを進めるうえで、最も重要な要素です。本町の町政への町民参加の現状は、行政が策定する各種計画やその見直しに当たり、審議会等やアンケート調査、パブリックコメントなどにより町民の皆様から意見をいただいております。今後、さらに町民主体のまちづくりを進めていくためには、ワークショップや参加型パネルディスカッションなど新しい手法により、今まで以上に多くの方から意見をいただくことが必要であり、特に、女性や将来の担い手である子どもの町政への参加を推進していく必要があると考えます。
今後の取組	● 青少年・子どもの町政への参加の推進 ● 女性の町政への参加の推進 ● 町民参加対象施設に関する規則の制定 ● 町民が参加しやすい手法の検討 ● 審議会等の見直し ● 審議会等の委員の公募に関する条例の制定 ● パブリックコメント手続き条例の制定

【担当：まちづくりグループ・全グループ】

取組内容		平成23年度
進捗状況	町民参加対象施設に関する規則の制定	 規則の検討及び制定 制定
	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 平成24年4月1日から施行しました。今後においては、社会情勢の変化等を勘案し、必要に応じて見直しを行うことを検討します。

【担当：まちづくりグループ】

取組内容		平成23年度	平成24年度
進捗状況	審議会等の見直し	 審議会等の管理及び運営に関する指針の策定(H24.3.29制定) 制定	 指針に基づく見直しの実施 附属機関条例案の策定 3月 議会 上程・議決 制定
	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 平成23年度に審議会等のあり方を含め検討し、指針を策定しました。平成24年度には、この指針に基づき見直しを行い、さらには附属機関毎に定められていた条例を分かりやすさや管理・運営の効率化を図ることを目的として、既存の条例を改廃・統合し、新設の附属機関を含めて一本化した「美幌町附属機関条例」を制定しました。今後においては、必要に応じて見直しを行うことを検討します。	

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成24年度
審議会等の委員の公募に関する条例の制定		12月 条例制定可否の意思決定
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 条例制定の必要性が無いと判断しました。今後においては、社会情勢の変化等を勘案し、条例制定の必要性について検討します。

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成24年度
パブリックコメント手続条例の制定		6月 10月 3月 条例(案)の策定 自治推進委員会へ説明 パブリックコメント手続の実施 議会上程・議決 制定
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 自治基本条例条文上において別に条例で定める委任規定は定めていませんが、パブリックコメント手続制度は分権時代における町民参加の手法において重要な制度であることから、この制度の継続性、安定性を図るため、要綱という内部規範から条例を根拠とする制度に移行するため条例を制定しました。今後においては、社会情勢の変化等を勘案し、必要に応じて見直しを行うことを検討します。

第4章 住民投票

アクションプラン

5

「住民投票制度の創設」

現状と課題	自治基本条例第17条及び第18条において、「常設型」の住民投票制度を見据えた規定が置かれており、この規定に基づき具体的な手続等を定める条例及び施行規則の制定が必要です。
今後の取組	●住民投票条例及び施行規則の制定 ●住民投票制度の周知

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成23年度					
住民投票条例 及び施行規則 の制定		11月	12月	1月	2月	3月	制定
		住民投票制度の検討 条例素案の策定		施行規則の策定			
		自治推進委員会で制度の審議			議会へ条例案上程		
		パブリック コメント		条例案 の決定			
進捗 状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 平成24年4月1日から条例及び施行規則を施行しました。今後においては、社会情勢の変化等を勘案し、必要に応じて見直しを行うことを検討します。					

第6章 協働・コミュニティ

アクションプラン

6

「協働の推進」

現状と課題	国ではこれまで行政が担ってきた業務や、行政だけでは実施が困難であった業務を町民の参加と選択のもとで、NPOや企業等が一部の公共サービスの提供主体となる「新しい公共」を推進するため支援事業を展開しています。本町においても、協働を推進していくべきと考えますが、「協働＝行政の下請け」とならないように、町民、NPO等の各種団体が協働事業を提案できる制度を検討していく必要があります。
今後の取組	●協働を推進する制度の検討 ●協働指針・マニュアルの作成

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
協働指針・マニュアルの作成		 指針・マニュアルの検討			10月 完成
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 他市町村の協働指針等を調査・研究し、平成27年10月に協働ハンドブックが完成しました。今後も、各分野において協働の浸透と推進を図っていきます。			

第6章 協働・コミュニティ

アクションプラン

6

「協働の推進」

現状と課題	国ではこれまで行政が担ってきた業務や、行政だけでは実施が困難であった業務を町民の参加と選択のもとで、NPOや企業等が一部の公共サービスの提供主体となる「新しい公共」を推進するため支援事業を展開しています。本町においても、協働を推進していくべきと考えますが、「協働＝行政の下請け」とならないように、町民、NPO等の各種団体が協働事業を提案できる制度を検討していく必要があります。
今後の取組	●協働を推進する制度の検討 ●協働指針・マニュアルの作成

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
協働指針・マニュアルの作成		指針・マニュアルの検討 → 協働ハンドブックの作成 → 10月 完成			
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 他市町村の協働指針等を調査・研究し、平成27年10月に協働ハンドブックが完成しました。今後も、各分野において協働の浸透と推進を図っていきます。			

第9章 行政運営

アクションプラン

7

「総合計画の適正な運用」

現状と課題	平成28年度から平成38年度までの11年間を計画期間とした、第6期美幌町総合計画が策定され、今後は、毎年度進捗管理を行うとともに、実施計画の公表を行います。
今後の取組	●実施計画の進捗管理 ●総合計画と他の計画との整合性 ●第6期総合計画策定及び検討内容の公表 ●総合計画条例の検討

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
第6期総合計画策定及び検討内容の公表		総合計画のあり方の検討 (予算との連動・評価できる計画へ向けて) 第6期総合計画の策定			完成
		第6期総合計画の策定作業及び検討内容の公表			
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 町民主体で総合計画を策定するため「びほろみらいまちづくり会議」を組織するとともに、併せて庁内組織を立ち上げ、平成28年3月に策定されました。策定経過については、町ホームページに随時掲載し情報提供に努めています。また、総合計画・行政評価・予算・他計画がリンクする仕組みを図りました。			

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成24年度	平成25年度	平成26年度	一部改正	
総合計画条例の検討		条例制定可否の意思決定				条例一部改正
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 総合計画のあり方(平成23年5月、地方自治法の一部改正により基本構想の策定に係る議決事項が撤廃)の検討結果を踏まえ条例制定の可否を検討しました。 美幌町自治基本条例第36条において、総合計画が謳われていることから新たな条例制定は行わないこととしましたが、第2項に基本構想の策定について議会の議決を経ることを加える一部改正を行いました。(H27.3)				

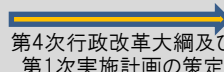
現状と課題	平成18年度から投資的経費のみについて行政評価を実施しておりますが、現在の評価システムは、制度面、運用面の双方において決して効果的なものとなっていないのが現状であります。厳しい財政状況の中、経営資源である「ヒト」、「モノ」、「カネ」を有効に配分し、最小の経費で最大の効果を上げることが行政には求められております。そのためにも、事業の必要性、効率性、有効性、公平性、優位性の視点にたち、事務事業を進めていかなければならず、それらを評価し、その結果を予算へ反映させるシステムの構築が必要であると考えます。
今後の取組	●行政評価システムの構築 ●行政評価条例の検討

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成24年度	平成25年度
行政評価条例 の検討		条例案の検討 完了	
進捗 状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 平成24年度から行政評価を試行導入しておりますが、その後においても内容の改善等が見込まれることから、当該システムの安定時期に併せて制定することとしました。	

現状と課題	昭和61年に行政改革大綱を策定して以来、継続的に行政改革に取り組んできており、平成21年度には第3次行政改革大綱及び第4次実施計画を策定し、平成24年度には第5次実施計画を策定しました。 また、平成28年度には第4次行政改革大綱及び第1次実施計画が策定されました。
今後の取組	●第5次実施計画の策定

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
第5次実施計画の策定		 第5次実施計画の策定	第5次実施計画に基づき推進			 第4次行政改革大綱及び第1次実施計画の策定
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 平成27年度に第5次実施計画が終了したことに伴い、平成28年度には第4次行政改革大綱及び第1次実施計画が策定され、今後も行政改革の推進に取り組みます。				

現状と課題	行政手続制度は、町民の権利利益を保障する手段として、事前手続のルールを定めることにより、行政運営における公正の確保と透明性を図ることを目的としています。この趣旨に基づき本町においては、平成8年に行政手続条例を制定しておりますが、必ずしも条例に沿った運用がなされていないのが現状であり、この制度を適正に運用していく必要性から審査基準の検証及び標準処理期間の設定を行うこととします。
今後の取組	● 審査基準の検証 ● 標準処理期間の設定・公表

【担当:総務グループ】

取組内容		平成24年度	平成25年度
審査基準の検証			
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 行政運営ワーキンググループで検証し、担当グループで審査基準を整理しました。	

【担当:総務グループ】

取組内容		平成23年度	平成24年度
標準処理期間の設定・公表			
進捗状況	完了 (継続中)	【現状・今後の方向性】 行政運営ワーキンググループで検証し、担当グループで標準処理期間を整理しました。	

現状と課題	地方分権改革の進展に伴い、自治体の法令の自主解釈権が認められるとともに、条例制定権が拡充されました。このような中で、行政は自主的・自立的な行政運営を行い、地域の課題を解決する政策を実現するために、こうした権限を十分に活用していく必要があります。これらの権限を活用していくためには、「政策」と「法務」を結合し、政策法務の管理を徹底するための組織体制の構築が必要であると考えられます。政策を推進する「企画調整部門」、個別の政策課題に取り組む「担当課」、法的な視点から政策をサポートする「法制担当部門」が、役割を分担し、連携を図ることで、地方分権時代の政策法務マネジメントが可能となると考えます。
今後の取組	●政策法務推進体制の整備

【担当:総務グループ・まちづくりグループ】

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
政策法務推進体制の整備	政策法務の定義付け 及び現状の課題の洗い出し 政策法務推進体制の 検討 各部門間の連携強化			
進捗状況	【現状・今後の方向性】 完了 (継続中) 政策法務推進体制については、検討の結果、現行の体制を継続し、各部門間の連携を強化することといたしました。			

現状と課題	近年、企業の不祥事が内部告発により明らかになるケースが増加しており、消費者や公益を擁護するために行われた従業員等の行動に対して、解雇等の不利益な処分がなされるのは不当であり、これを防止する目的で、平成18年4月に公益通報保護法が施行されました。一方、地方自治体においても入札談合への関与などの不祥事が後を絶ちません。これらの状況から、本町においても法令遵守(コンプライアンス)の確保と、公益のため通報を行った職員が不当な取扱いを受けず、保護されるための制度を整備する必要があります。
今後の取組	●法令遵守推進条例の制定

【担当:総務グループ】

取組内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度
法令遵守推進条例の制定	条例骨子の策定	条例案の策定	議会へ条例案上程 施行規則の策定
進捗状況	【現状・今後の方向性】 完了 (継続中) プラン当初においては、公益通報のみの条例制定を考えておりましたが、検討の結果、総合的に法令遵守を推進する必要性から、「美幌町法令遵守の推進に関する条例」を制定しました。(H27.3)今後においては、社会情勢の変化等を勘案し、必要に応じて見直しを行うことを検討します。		

条例の周知

アクションプラン

16

「住民への周知」

現状と課題	自治基本条例制定後においても、町民の皆様に条例の内容を理解していただくため、様々な手法を用いて説明をしていく必要があります。広報やホームページでの周知はもとより、各種団体等への説明会や、ワークショップ、パネルディスカッション、フォーラムなど町民参加型の新たな周知方法を検討し実施していきます。
今後の取組	●説明会・ワークショップ等の開催 ●「まちづくりすいしんニュース(仮称)」の発行 ●子ども向けパンフレットの作成

【担当:まちづくりグループ】

取組内容		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
子ども向けパンフレットの作成		8月			